



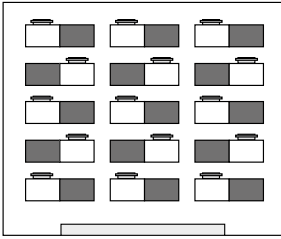
鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)
新型コロナウイルス感染症
対策について

Q 新型コロナウイルス感染症対策として新しい生活様式が示されているが、学校内において3密の回避をどのようにするのか。

A 教育長

5月22日に文部科学省から示された学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル、学校の新しい生活様式等を踏まえ、授業や部活動など教育活動全般に換気の徹底や児童生徒の座席の間隔の確保、密集しない活動の工夫、マスクの着用の徹底などに取り組んでいます。

また、1クラス31人を超える学級が市内で小学校11校、中学校7校、義務教育学校1校ですが、どの学級も前後左右1メートル前後の間隔を取っています。中には市松模様形式に配置して距離を確保したり、音楽室等、特別教室等を利用して授業を行ったりする学校もあります。



川嶋 嘉一 議員(政友みらい)
地域外来・検査センターの
開設について

Q 隣接する群馬県邑楽館林地域においては、地域外来・検査センターが開設されたが、佐野市においても佐野市医師会に協力をお願いし、かかりつけ医師がPCR検査を必要と判断した場合、ドライブスルー方式等を利用して検体を採取する方法を用いて、地域外来・検査センターを開設することが可能と考えるが、見解を伺いたい。

A 健康医療部長

佐野市医師会と本市を含む関係機関が協議を行い、市内1カ所に地域外来・検査センターの設置が決定し、栃木県との契約に向けて、現在調整中です。地域外来・検査センターでは、佐野市医師会会員の診察でPCR検査が必要と判断された患者に対して検査を実施します。検査は完全予約制とし、予約された患者が車に乗ったまま検査を行うドライブスルー方式として実施する予定です。

その他の質問

☆コロナ問題が教育に及ぼす影響等について
☆避難所等について



鈴木 靖宏 議員(蒼生会)
CATV連携による教育支援とこれからの防災対策について

Q ケーブルテレビは、誰でも分かりやすい災害等の情報提供や情報伝達に有効と考える。現在、市は佐野ケーブルテレビに1千万円ほどの出資をしていると思うが、市と佐野ケーブルテレビのタイアップで、市が3千万円でも5千万円でも出資拡大をすることで、ケーブルテレビの普及を全世帯網羅する効率を上げていくことが良いと考えるが、どのように考えるか伺いたい。

A 行政経営部長

ケーブルテレビについては、防災情報を始めとして、様々な情報を取得する大変有効な手段であると考えています。様々な観点から様々な方法を検討して、今後十分活用できるような方策を検討したいと考えています。

